

2015 年 2 月 11 日（水） 奥間川源流域（与那覇岳）（国頭村）

体験記者：ささら人（酒々楽人）

【訪問記】

久しぶりの晴れ間に恵まれた休日（建国記念日）、本島最高標高の与那覇岳方面に行ってみました。

許田インター経由で国道 58 号を北上、国頭道の駅付近から森林公園方面へ入り奥間林道を進むこととし、大国林道と交わるあたりの登山口に到着。駐車スペースに整備された登山案内看板とバイオトイレが目印。



7～8 台の駐車スペースに先行者が 1 台



登山案内図とバイオトイレ（看板裏の建屋）

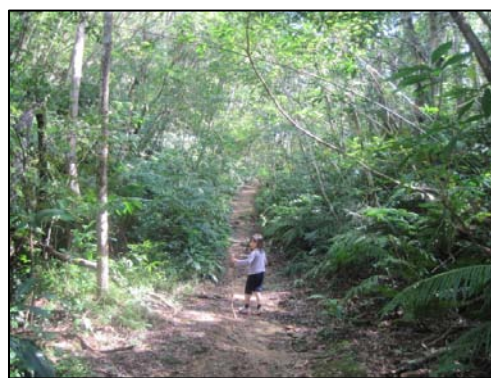
用を済ませ早速歩き始めます。入口に注意板があり、昨年 12 月に行われたトレイルランニングにも使われていた様子。どんな道かと進んでみると、かつては車も通れたであろう林道？が続きます。

ところどころ足元にきれいな花卉が落ちていました。何かと見上げても木漏れ日の空が眩しく写真になりませんでした。おそらくエゴノキ、サクラの類が咲いているようです。

時折両側の斜面を徘徊する小鳥が姿を現すなど、退屈しない散策路です。



登山道の入り口



緑のトンネル

のんびり歩いて 15 分くらいでしょうか、小道を横断する細い流れが見られました。淡々と歩いていたら見落としてしまいそうな。奥間川源流の一筋ですね。水量はわずかですが何かいそうな、、、と、覗いてみても気配なし。残念。



見落としてしまいそうですが、



奥間川源流の一筋

さらに歩くこと15分、分かれ道を過ぎるとちょっとした水たまり。覗くとイモリちゃん。まだ寒いのでしょうか、一匹だけでした。

帰ってからインターネットで与那覇岳登山道について調べてみたところ、以下の解説が見られました。

『この小さな池は、かつての林業試験場のイグサなどの試験栽培用の水田であつたりと、人に利用されていた場の名残りです。この池に示される様に与那覇岳はやんばるの森の特質のすべてを表していることから、山腹の一部に林業試験場などが設けられ、植林や茶および果樹普及のための試験栽培が行われていた場所でもあったのです。』（特定非営利活動法人国頭ツーリズム協会 HP より）

この水溜りのことかは分かりませんでしたが、ひっそりと良い感じでした。 が、暖かくなってきたら虫がいっぱいいいそうな、想像するだけで、痒 ぅ。。



小道の脇の水たまり

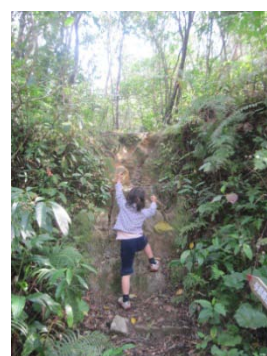


見えるかな？

さらに進むと NPO 法人やんばる森のトラストの看板があり、林道？もここで終わりのようです。案内版で示される『登山口の広場』でしょうか。そこから先はいわゆる登山道、ハイキングはここまでかな。



ここから先は険しい山道、ハイキングはここまで



こんな感じ

帰りに改めて駐車スペースの看板を見てみると、次の記載がみられました。

『※ 必ずガイドをつけましょう。 *Always with a guide, please climb the mountain.*』

家に帰って少し調べてみると、ネット上に次のような記載もみられました。

『・・・純粋に自然が好きな人には、特に眺望が楽しめるわけでもない与那覇岳への登山を自粛することで与那覇岳天然保護区の保全に力をお貸しいただくと共に、猛毒なハブなどの存在から、安全管理上も8合目付近の林道のみでの散策や観察をお勧めする。』(特定非営利活動法人国頭ツーリズム協会HPより <http://kuta-okinawa.org/area.htm>)

天然保護区の保全（オーバーユースへのケア）、安全管理面の喚起と受け取れます。

林道？区間だけでも十分心地よかったです。ただし、暖くなったら虫が煩そうですね。ハブも気になりますし。冬だからこそと思いました。

【周辺情報】

所在地：国頭村辺戸名

駐車場：7～8台程度の駐車スペースあり

トイレ：バイオトイレあり

概略位置図：(車止め概略位置)



自然散策（ガイド付きが望ましい）、小さいお子様には少ししんどいかもしれません

【参考】

国頭村・森林セラピー ～命薬(ぬちぐすい)の森～ (<http://www.kunigami-forest-therapy.jp/>)